

# 国立大学法人岩手大学の平成25年度に係る業務の実績に関する評価結果

## 1 全体評価

岩手大学は、国際的な視野を持ち、幅広い教養と深い専門性を備えた多様な人材、高度専門職業人及び研究者の育成を目指すとともに、持続可能な共生社会の形成に寄与することを使命としている。第2期中期目標期間においては、大学の特色を活かした地域課題研究及び独創的な研究の推進、教育機関・自治体・産業界などとの連携強化等を目標としている。

この目標達成に向けて学長のリーダーシップの下、三陸沿岸地域の復興と活性化に寄与するため岩手大学三陸水産研究センターを設置するなど、「法人の基本的な目標」に沿って計画的に取り組んでいることが認められる。

### (機能強化に向けた取組状況)

「地域活性化の中核的拠点」として、地域の再生・活性化を担う人材を育成するための教育研究組織の再編や学部横断教育プログラムの導入を検討しているほか、グローバル化に対応した国際的な研究者を養成するため、植物科学分野においてサスカチュワン大学（カナダ）とのデュアル・ディグリー・プログラムの導入を検討している。

## 2 項目別評価

### I. 業務運営・財務内容等の状況

#### (1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標

(①組織運営の改善、②事務等の効率化・合理化)

#### 【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載13事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められることによる。

#### (2) 財務内容の改善に関する目標

(①外部資金、その他の自己収入の増加、②経費の抑制、  
③資産の運用管理の改善)

#### 【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載8事項すべてが「年度計画を十分に実施している」と認められることによる。

### **(3) 自己点検・評価及び情報提供に関する目標**

( ①評価の充実、②情報公開や情報発信等の推進 )

#### **【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる**

(理由) 年度計画の記載4事項すべてが「年度計画を十分に実施している」と認められることによる。

### **(4) その他業務運営に関する重要目標**

( ①施設設備の整備・活用等、②安全管理、③法令遵守 )

- 東北地区の7国立大学法人(弘前大学、岩手大学、東北大学、宮城教育大学、秋田大学、山形大学及び福島大学)において、「大規模災害等発生時における東北地区国立大学法人間の連携・協力に関する協定書」を締結し、被災大学において応急措置及び教育研究活動等の復旧・再開が困難な場合に、大学間の連携により迅速かつ的確な支援を行うための体制を整えている。

#### **【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる**

(理由) 年度計画の記載8事項すべてが「年度計画を十分に実施している」と認められるほか、平成24年度評価において評価委員会が指摘した課題について改善に向けた取組が行われていること等を総合的に勘案したことによる。

## **II. 教育研究等の質の向上の状況**

平成25年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

- 女性研究者の裾野拡大・育成の取組の一環として、女性大学院生の研究活動等を支援することを目的に、「岩手大学優秀女性大学院生学長表彰」を実施し、審査の結果、最優秀賞1名、優秀賞2名、奨励賞3名を表彰し、学会・シンポジウム参加や調査研究等に係る費用を支援している。
- リメディアル教育(補修教育)、外国語の学修支援の充実及び学生の自発的な学びの支援のため、「学修支援室(ラーニング・サポート・ルーム)」を附属図書館に開設、コーディネーターによる個別学修相談と退職教員による学修支援講座を実施している。「学修相談」は2,000名を超える学生が利用しており、さらに、学修支援を充実するために附属図書館にグループ学修エリアを開設している。
- 誰もが、いつでも構内を安心して移動できるように、構内全ての建物における車いす対応のトイレやエレベーターの設置場所、スロープの斜度等も掲載した「岩手大学構内バリアフリーマップ」を作成し、発行している。

- 約 90 の企業・団体の参画を得て「ものづくり基盤技術開発コンソーシアム」を創設し、参画企業等を対象とした技術講習会や研究交流マッチング等を実施することにより、民間企業・団体との間で 54 件の共同研究等契約締結につながる等、産学連携プロジェクトの形成・推進に寄与している。
- 岩手大学三陸水産研究センターにおいて、水産業の高度化や三陸水産品のブランド化を目指し、従来の水産業に科学的根拠に基づく付加価値を加える研究を推進するとともに、水産関連技術者の高度化教育を通じた人材育成のため、水産加工品の開発や流通販売を担当する者を対象とした「通電加熱技術セミナー・公開実験」、「水産加工研究講演会 in 久慈」、「食品加工講習」等を実施している。